

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名（廿日市市立玖島小学校）

- ① 教科等 国語科                      ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 ポップカードを作って紹介しよう～ふるさとや家族を思う心をえがいた本を読もう～
- ④ 本時の目標 3つの作品を比べて読み3つの作品に共通する「心」を話し合うことを通してお互いの感じ方や考え方の違いに気付くことができる。
- ⑤ 学習の流れ（10時間目／全13時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 〔評価方法〕
<p>1 前時までの学習を想起し学習課題を確認する。</p>	<p>・3つの作品について時系列でまとめた表を提示し関連性を意識させる。</p>	
<p>3つの作品に共通する心を一文で表そう。</p>		
<p>2 3つの作品に共通する心を一文で書く。</p> <p>T 3つの作品をまとめて紹介するとしたら、作品に表れている心をどのように紹介しますか。</p>	<p>・単元を貫く言語活動「ポップカード」に書くことを意識させる。</p> <p>・各自でホワイトボードにまとめさせる。</p> <p>・「だれの(何の) 誰に対するどんな心」という形で書かせる。</p>	
<p>3 3つの作品を紹介する一文を話し合う。</p> <p>T 自分の文と比べてどこが違いますか。なぜ違うのでしょうか。</p> <p>T みんなの一文を共通のキーワードでまとめるとしたらどんな言葉がふさわしいかな。</p>	<p>・叙述や自分の経験を根拠（理由）にして述べさせる。</p> <p>・同じ叙述から違う感想を持ったり、似たような表現をしていてもその根拠は違っていたりすることに気付かせる。</p> <p>・さらに共通のキーワードでくくらせる。自分の持っている「語彙」や経験を活用しながら思考を深めふさわしい表現を探させる。 (例) 家族やふるさとを大切に思う心</p>	<p>・自分の考えをもち、友だちとの感じ方の違いに気付いている〔読む能力〕(発言、ノート記述)</p>
<p>4 本時の学習の振り返りをし、まとめをする。</p> <p>5 次時の学習を知る。</p>	<p>・次時からは、自分で本を探して読み、ポップカードに書いて紹介する活動に入ることを知らせる。今日の学習を生かしていこうとする意欲を高める。</p>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- お互いの感じ方や考え方の違いに気付き、より深く読書の面白さを感じ、他の作品も探して読みたいようとする意欲を高める。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 単元を貫く言語活動「ポップカードで紹介する」ことを意識して、短い言葉でまとめたり、一文で表す学習に取り組ませる。
- 教科書の教材文を中心にシリーズの3作品を読ませる。3つの作品を関連付けながら読み取りを深めさせることによって読書の楽しみの幅を広げさせる。